

2024年6月28日

各位

株式会社三井住友銀行

エム・ケーホールディングス株式会社に「SDGs推進支援シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：福留 朗裕）は、エム・ケーホールディングス株式会社（代表取締役社長：小林 勁）に「SDGs推進支援シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進支援シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、エム・ケーホールディングス株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

## ① 産業用地開発事業等を通じた地域活性化による住みやすいまちづくりへの貢献

<p>目標：11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。</p>
<p>目標：8 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。</p>
<p>目標：17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> 	<p>17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p>

② シェアサイクル事業による住民のサステナビリティ意識向上、太陽光発電事業による再生可能エネルギーの拡大

<p>目標：12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。</p>
<p>目標：7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> 	<p>7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p>

三井住友銀行では、「SDGs 推進支援シンジケーション」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上